

事務事業名	永井隆記念館管理事業		所属部	教育委員会	所属課	社会教育課	
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	社会教育G	課長名	和田 邦夫
	施策名	〈29〉平和と人権の尊重		担当者名	杉原 学	電話番号	40-1073 (内線) 2242
	目的対象	市民	意図	平和の意義を理解するとともに、人権を守り、お互いを尊重し合う。			
	基本事業	〈085〉学校・家庭における平和・人権教育の推進		予算科目	0:150:0:1 2:5:10:0:4	大事業名	社会教育施設管理事業
目的対象	市民・児童生徒	意図	平和・人権について学び、人権を尊重し合う。			中事業名	永井隆記念館管理事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市民・児童生徒	永井隆博士の「平和を」・「如己愛人」の精神を通して、平和・人権について学び、人権を尊重し合う意識が高まる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	<ul style="list-style-type: none"> 永井隆記念館の施設管理運営(指定管理施設) 基本協定及び年度協定に基づく指定管理委託料の支払い 施設管理業務に関わる指定管理者との協議 修繕が必要となった場合の予算措置、契約 など
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
①指定管理料算定事務 ②基本協定・年度協定締結業務 ③指定管理料支払い ④管理運営に係る協議 ⑤竣工式の開催(R3.4.18)	施設の老朽化に伴い、H30.5月から施設を一時休館し、現地建替えによる施設建設工事をすすめ、R3.4月にリニューアルオープンした。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 来館者数	人	0	0	6,187	6,000
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
報償費	139千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
需用費	117千円		県支出金	千円				
役務費	1千円		地方債	千円				
委託料	10,351千円(指定管理料)		その他	千円				
使用料及び賃借料	306千円		一般財源	千円	0	0	10,914	9,707
計	10,914千円		事業費計	千円	0	0	10,914	9,707

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	<ul style="list-style-type: none"> 施設整備が令和3年3月をもって完了したため、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により延期していた第30回永井隆平和賞発表式典と併せ、令和3年4月18日に定礎式・竣工式を同時開催した。新聞や市HPなど各種媒体により、施設リニューアル及び今後の来館に向けた周知について、市内外へ幅広く情報発信した。 三刀屋如己の会を指定管理者として、施設管理を行っている。(R3年度は1年間の協定期間)
② 事業実施するうえでの課題	<ul style="list-style-type: none"> 永井隆博士の「平和を」・「如己愛人」の精神を後世に伝え、世界の恒久平和実現に向けた平和学習・人権教育の拠点として、さらなる施設の利活用を図っていく必要がある。 直営管理をしていた施設を、指定管理者制度を導入したことにより事務量の大幅な軽減に繋がっており、指定管理者により適切な管理運営がおこなわれている。
③ 課題解決に向けた改革改善等	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、指定管理者や関係機関と協議しながら、永井隆顕彰事業(永井隆平和賞)や学校、地域における平和学習・人権教育活動との連携を図り、施設の有効活用及び来館者数の確保に向けて取り組む。 当面は、新型コロナウイルス感染症対策を講じた施設運営が必要となる。